



瀬戸北総合高校 保健室

NO. 6

2019年10月1日

10月に入り、秋らしくなってきましたね。夏休みが終わって1ヶ月が経ち、学校祭も終わりました。みなさん体調はどうか？感染症が流行する前に生活習慣を見直して、体の免疫力を高めましょう！

保健研究大会に参加してきました

主題：生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進

8月19日に、愛知県学校保健会県立学校部保健研究大会が名古屋市で開催されました。本校からは、養護教諭、保健主事、保健委員代表生徒2名が参加しました。内容の一部と参加者の感想文を紹介します。

講演：『Can't Stop Falling in Love(恋する気持ちは止められない) - Dr.サワコの恋愛指南 -』

一般社団法人 おもしろ健康教育研究所
所長 伊藤 純子 氏
副所長 高橋 佐和子 氏

◎講演内容◎

おもしろ健康教育研究所の伊藤純子さんと高橋佐和子さんの講演を聞かせていただきました。コメディ番組のように、性に関する悩みに答え、アドバイスや知っておくといいことなどを話してくださり、生徒も大人も楽しく学ぶことが出来ました。

◎保健委員の感想文◎



保健研究大会に参加し、いろんなことを学びました。まず、「Can't Stop Falling in Love」という演題で恋愛について学びました。内容は“性”についてで、「ちょっと恥ずかしいな」と思ったけど、おもしろ健康教育研究所の方が笑いありのコメディ番組風に発表してくださって、学校で学べないことも知ることができました。



みんな違ってみんな良い！！



2年4組3番 井上 惟花



生徒部会では、愛知県立武豊高等学校と愛知県立一色高等学校の保健委員会で行った活動発表を聞きました。

愛知県立武豊高等学校



スマートフォン・携帯電話と健康
—生徒保健委員会活動を通して—

アンケートでスマートフォン・携帯電話の実態調査を行い、「脱・依存症！」というスローガンを掲げ、活動した。文化祭で「脱・依存症！」の展示を行ったり、アンケート結果を再考察して、「どうしたらスマートフォン・携帯電話の長時間使用を減らせるか」を探ったりした。また、全校集会で「スマホと健康」について発表したり、全校生徒へスマホの「使用のルール決め実践」を依頼したりした。

様々な活動をし、また、同じアンケートを実施した。アンケート結果から、スマートフォン・携帯電話の使用に関して意識が高くなったことがうかがえた。

愛知県立一色高等学校



眼の健康を守るために
—学校医と連携した生徒保健委員会
活動を通して—

眼に関するアンケートを行い、コンタクトレンズの使い方や眼の病気について、啓発活動を行った。眼に関する調べ学習を行い、眼科学校医を訪問し、質問をした。自分たちで調べたことや、学校医訪問で学んだことを「ほけんだより」やポスターにまとめた。また、ホームページにも掲載し、保護者等へもアピールした。学校保健委員会で活動報告を行い、参加者にアンケートを行った。また、眼科学校医からはこれからの活動に対しての活動・助言をいただいた。

◎保健委員の感想文◎



2年4組4番 岩崎 佑香

武豊高等学校はスマートフォンが私たちにとって必要不可欠な存在だからこそ健康被害を起こさないようにということを丁寧に発表してくださいました。一色高等学校は高校生のコンタクトの使用状況が高いということで正しい使用方法など、眼の健康について詳しくまとめていました。今回の講演をきいて、本校も保健委員で何かできることをやれたらいいなと思いました。